

# 心をわすれない科学を願う

中学校教員 宮本 紀子

(仙台市青葉区 46)

「心をわすれた科学には しあわせを求める夢がない」。ふと思い出したアニメの主題歌の一節だ。手塚治虫原作の「マイクロイドS」。後で調べると主題歌の作詞は阿久悠。さらに調べてみると、この歌詞の2番には「心をわすれた科学には 地獄の夢しかうまれない」ともある。

内閣府原子力委員会で国の原子力政策の基本方針を決める審議にあたる大学教授らが、原子力業界から多額の寄付を受け、会議の席で原発推進を擁護する発言をしていたとの6日の本紙を読んだ。福島原発事故から早11カ月、いまだに冷却がまま

くいかず、今後に向けての安全性の議論や検証も不十分なままなのに、こうした科学者たちの姿勢に、この歌詞がぴったりしすぎて恐ろしくなった。

功を焦るからか研究費用の捻出のためかは分からないが、こういう人たちに「安全だ」と言われても全く説得力がない。科学は人間の生活に有益な部分もあるだろうが、半面、人間の生命そのものを脅かすこともあるように思う。

本当の意味で科学の力を有益なものとするために、心をわすれない科学であってはほしいと切に願っている。これは天国にいる手塚先生や阿久先生も同じではないだろうか。